

「ふくしまの未来をひらく読書の力 プロジェクト」
読書活動支援者育成事業 地区別研修
主催：福島県教育委員会

参加費無料
(各会場先着20名様)

～よみきかせの効果を再確認してみませんか～ 子ども読書セミナー

平成29年

6月15日(木) 10:00～12:00

伊達ふれあいセンター 伊達市箱崎川端7

平成29年

6月23日(金) 10:00～12:00

福島市吾妻学習センター 福島市笹木野字折杉41-1

平成29年

7月6日(木) 10:00～12:00

二本松図書館 二本松市本町一丁目102

日時

各回とも同じ内容です。ご都合の良い日時をお選び下さい。

対象者

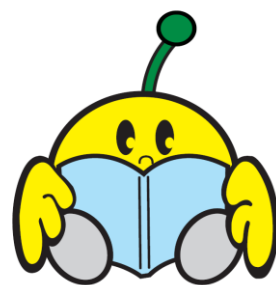
子どもの読書に関心のある方
読書ボランティアに興味のある方ならどなたでも

第1部

10:05～10:55

講話「子ども読書活動の影響と効果」

講師：公立図書館司書



第2部

11:05～11:55

事例発表「読書ボランティア活動を通して」

演習「よみきかせ・かみしばい等の実践」

講師：県北域内読書ボランティア団体

6/15 NPO法人夢ネットワーク (伊達市)

6/23 子どもの本を結ぶ連絡会 (福島市)

7/6 児童図書研究グループ「トトロ」 (二本松市)

お申込み
お問い合わせ

福島県教育庁県北教育事務所
総務社会教育課

TEL：(024) 521-2814
FAX：(024) 521-2870
E-mail：kenpoku-eo@fcs.ed.jp

☆ 読み聞かせの影響 ☆

人間の声は、最も強力な道具

様々な心理学的研究が、読み聞かせが子どもの創造力を育み、言語能力を高め、人間関係を豊かにすることを報告しています。

アメリカでベストセラーとなった『読み聞かせハンドブック』(The Read-Aloud Handbook)を著したトレリースは、読み聞かせは子どもの興味、情緒的発達、想像力、言語能力を刺激するとし、人間の声は、親が子どもの精神状態を落ち着かせるための最も強力な道具であるとしています。

また、読み聞かせは聞き手である子どもにとってだけでなく、読み手である大人にも様々な影響をもたらします。

絵本の読み聞かせは、大人と子どもの親密な人間関係を基盤として、大人が文章を朗読し、子どもが絵を見ながら大人の音読を聞く、という独特のコミュニケーションスタイルを持っています。

親と子が共に居て、そのひと時の時間と空間の中に、絵本という遊びの世界があり、読み手と聞き手とがその遊びをわかちあい、共有することに絵本の第一の意味がある、と言っている人もいます(松居、2002)。

読み聞かせは聞き手である子どもだけでなく、読み手である大人にも影響を与える、相互作用を持ったコミュニケーションと言えるでしょう。

— 東京大学大学院教育学研究科ホームページより —

○ セミナーの目的及び対象者 ○

読み聞かせの効果や家庭での読み聞かせの大切さについて知る機会とするとともに、読書ボランティア活動への理解を深めることを目的としております。子どもの読書に関心のある方、読書ボランティアに興味のある方ならどなたでも参加できます。しかし会場の都合により、各回20名程度の定員を設けております。先着順となりますので、お早めに申し込みください。

～ おしらせ ～

学校や図書館で活動されている、読書推進ボランティアの専門的な知識や技能の向上を図る研修会を実施します。
開催日：平成29年9月27日(水)
会 場：福島市吾妻学習センター
※ 詳細は、県北教育事務所ホームページでご確認ください。

申込み

参加希望者は下記により

FAX (024-521-2870)、電話 (024-521-2814) または
電子メール (kenpoku-eo@fcs.ed.jp) で
県北教育事務所 (担当：青木) にお申し込みください。

参加希望日 (○で囲んでください)

参加希望日 (○で囲んでください)		
6/15 (木) 伊達ふれあいセンター (伊達市)	6/23 (金) 吾妻学習センター (福島市)	7/6 (木) 二本松図書館 (二本松市)
氏 名	住 所	連絡先 (電話番号)

※ 申込みにご記入いただいた個人情報は、本事業の参加にかかわる目的以外に利用しません。

※ お申込みいただいた方には返信はいたしません。定員に達した場合のみ、連絡をいたします。